

令和 y y 年 mm 月 d d 日
株式会社 ○ ○ ○ ○
肩 書 氏 名

一般社団法人 国際建設技術協会
理事長 安田 吾郎 殿

プロジェクト形成調査実施に係る申請
(申請書)

下記に示すプロジェクト形成調査を実施したいので、別添『プロジェクト形成調査
案件概要票』を添えて申請します。

記

1. 対象国 : 国
2. プロジェクト形成調査名称 :
和 : ○○国道 100 号線改良計画
英 : Preliminary Study for Improvement of National Highway No.100
3. 希望調査期間 : 令和●年■月 (上・中・下旬) (約▲日間)
4. 想定する事業スキーム^{※1} :

※1 無償、有償、技術協力プロジェクト外、開発調査型技術協力、国際機関発注事業、
PPP 事業等より選択

以 上

【別添】 プロジェクト形成調査 案件概要表

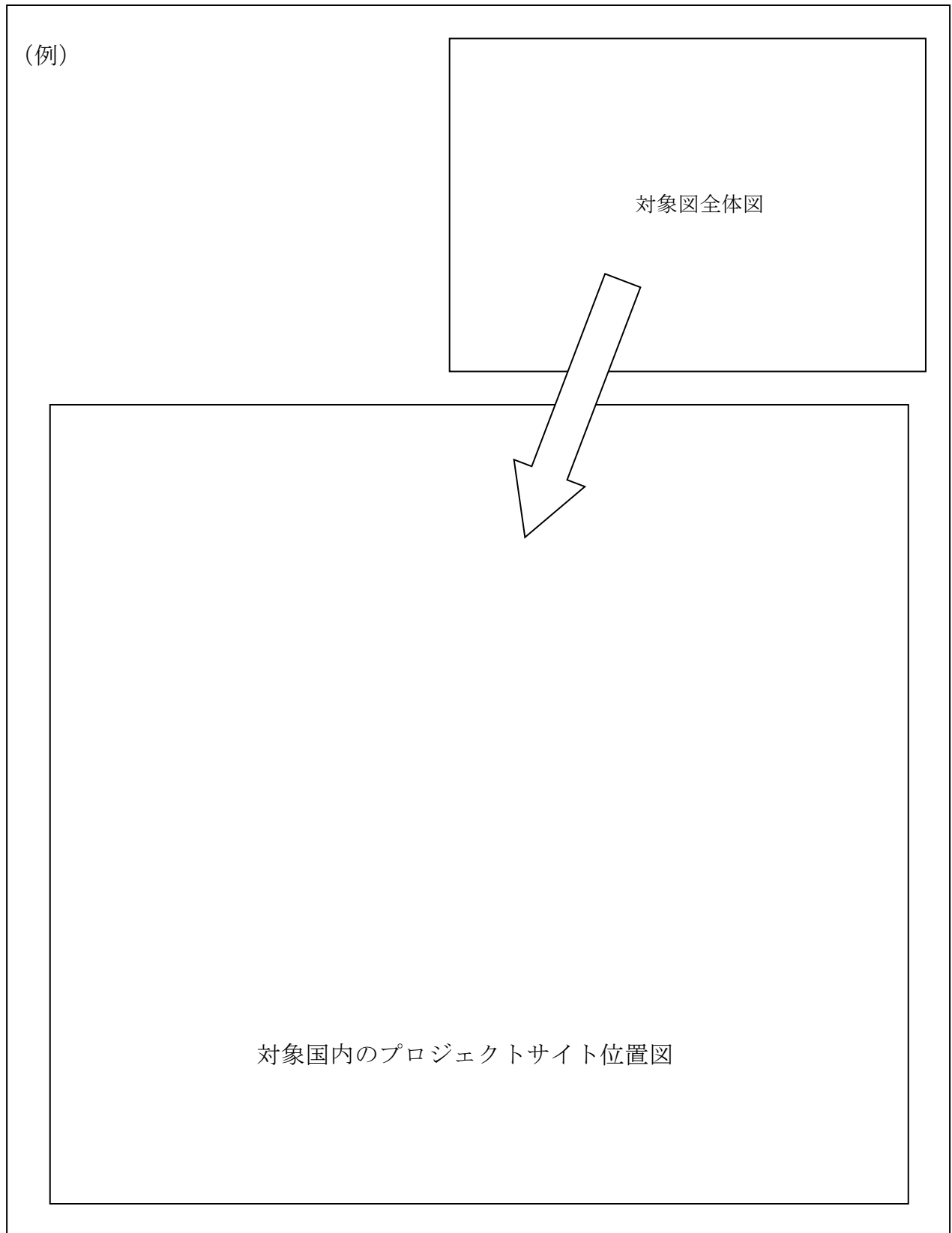
国名		案件名	和：〇〇国道 100 号線改良計画	調査希望実施時期
調査分野 ^{*1}			英：Preliminary Study for Improvement of National Highway No.100	20**年*月頃
実施機関名：公共事業運輸省(MPWT)		TEL：(+△△△)××-〇〇〇〇〇〇		
コンタクト先・役職：		FAX：(+△△△)××-□□□□□□		
他関連機関名：				
<p>【プロジェクト^{*2}提案の背景】（「プロジェクト形成調査」を通じて目指す将来事業の提案背景） プロジェクトの必要性について具体的に記載してください。</p> <p>〇〇国道 100 号線は、南北の軸である国道 99 号線から隣国へつながる幹線道路 且つ△△国の都市と◎◎国の都市を結ぶ物流最短経路の一部を成している。 本「国道 100 号線」はその幹線道路の中でも二大都市間の物流ルートとして最短・最速にも のではあるが、△△国に抜ける 15km 程度は最高標高 700m の山岳部を通過し、線形不良 箇所、急勾配箇所、崩壊性法面区間を多く含んでいる。 その為物資輸送に時間がかかるだけでなく、法面崩壊などの自然災害によって定時性が保た れない事態も発生している。本案件は、同路線の山岳区間の要改善箇所を抽出して改善計画 を策定すると共にその必要性や〇〇国政府の意向を確認し、更に本邦企業の受注可能性を 高める方策を検討するものである。</p>				
<p>【プロジェクト^{*2}の概要】（「プロジェクト形成調査」を通じて目指す事業の概要）</p> <p>① 国道 100 号線（〇〇国側）△△国境の近辺約 30 KMでの斜面防護工事及びトンネル建設。 ② △△国側 100 号線の〇〇国境付近の山岳地帯での斜面防護工事及びトンネル建設。</p>				
<p>【予想される裨益効果】</p> <p>1. イとロの両都市に工場を持つ日系企業（自動車会社、電子機器メーカーなど）の両都市 の工場間の物流の効率が飛躍的に改善される。 2. 〇〇国にチップ工場を持つメーカー、及び△△国のハ都市にやはりチップ工場を持つ商 社の都市間の物流効率が改善される。 3. 〇〇国南部の農産物の△△国の港（Z 港）への物流が改善される。 4. 〇〇国の中南部も△△国の北中部もそれぞれの国で最も貧困といわれている地域であ り、この国道 100 号線の改良は両国の貧困地域の生活改善に資するもので「貧困対策」 の一環となりうる。</p>				
<p>【プロジェクト形成調査で実施する内容】</p>				
<p>【開発協力大綱、国別開発協力方針、SDGs 等と提案内容が関連する目標や方針】</p> <p>〇〇国における現在実施中の ODA 案件は以下の通り。 ① A 橋整備計画（無償援助）協力準備調査 ② 国道 88 号線改修計画（現在施工中） ③ 道路維持管理能力強化プロジェクト（20**年*月*日まで） 他の援助機関では ADB が国道 3 号線及び WB が 77 号線の道路整備を、▲国が国道 66 号線の整備を行っている。</p>				

【対象国における関連分野の中長期計画の有無と、同計画における提案内容の位置づけ】 有（名称：Development Plan Connection of the National Roads） ・ 無 位置づけ：		
【過去における同類案件提案の有無】 有（ _____年） ・ 無		【日本政府、他ドナーへの過去の要請有無】 有（正式要請 非公式要請 要請先____、____年、検討中 不採用） 無
【要請の協力形態（開発調査型技術協力、無償、有償（STEP 含）、技術協力プロジェクト）】 基本的には円借款を考えているが、案件にトンネルを含めることで、結果的に本邦企業の受注確度を上げるようにしたい。 <div style="text-align: right;">他（ _____ ）</div>		
【現地 ODA タスクフォースとの連携^{*3}（アタッシュェ、専門家等との関わり方）】 JICA B 氏〔国交省、**局出身）専門家からは全面的にご支援を頂いている。		
【備考（治安問題、実施機関の当該分野における維持管理能力、その他関連情報等）】 今回、国道 100 号線の△△国側の状況もチェックし、その状況次第では○○国・△△国の二国間に跨がる案件形成を行う。		
提案者	提案者の団体名	XYZ 研究所
	担当者・役職	
	連絡先	TEL : _____ E-mail : _____
【自由記述欄】 		

対象地域略図を、A4 用紙 1 枚に別添して下さい。次頁図参照のこと。

（記入年月日）令和 _____年 _____月 _____日

調査対象位置図【A4 又は A3】



スケール挿入

※必ずしも、上記の例に拠らなくとも可